

＜香川県内の経済動向＞（平成 29 年 12 月 20 日作成）

現在の景気：緩やかな回復を続けている。

3 か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

個人消費：基調的には持ち直している。

10 月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 1.3%減と 11 カ月連続で減少。店調後は前年比 1.2%減と 2 カ月ぶりに減少。10 月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前）1.8%減と 3 カ月ぶりに減少。10 月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）1.0%増と 2 カ月ぶりに増加、ドラッグストアが同 2.8%増と 31 カ月連続で増加、ホームセンターが同 8.4%減と 2 カ月ぶりに減少。10 月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 4.5%と減少したものの、小型乗用車で同 2.5%増、軽乗用車で同 14.1%と増加し、全体では前年比 5.6%増と 12 カ月連続で増加。

住宅建築：基調的には持ち直している。

10 月の住宅着工戸数は、持家で前年比 14.8%増、貸家で同 32.1%増、分譲住宅で同 67.4%と増加し、全体では前年比 18.5%増と 2 カ月ぶりに増加。

設備投資：持ち直しの動きがみられる。

「全国企業短期経済観測調査結果（2017 年 9 月）-香川県-」における 2017 年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、全産業で前年度比 21.4%増加見込み。

公共工事：振れを伴いつつも高水準で推移。

10 月の公共工事請負額は、県で前年比 36.5%増、市町で同 216.5%と増加し、全体では前年比 154.4%増と 3 カ月ぶりに増加。4～10 月の年度累計では前年比 10.1%減少。

輸出：底堅く推移。

10 月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶で前年比 58.5%増となったことから、全体では前年比 40.7%増と 2 カ月ぶりに増加。1～10 月の累計では前年比 7.5%増加。

生産活動：持ち直しの動きに足踏みがみられる。

9 月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 9.0%低下し、89.5 と 2 カ月連続で低下。原指数は、前年比 9.9%低下し 96.0 と 2 カ月連続で低下。化学・石油石炭製品工業（医薬品）、電気機械工業（半導体集積回路）などで低下。非鉄金属工業（電気銅、電気銀）、窯業・土石製品工業（特殊炭素製品、生コンクリート）などで上昇。

観光：堅調に推移。

10 月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 11.5%減と 8 カ月ぶりに減少。1～10 月の累計では前年比 5.7%増加。

雇用情勢：好調に推移。

10月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.06ポイント上昇の1.76倍。新規求人数（原数値）は、卸売業、小売業、サービス業等で増加し、全体では前年比1.3%増と2カ月ぶりに増加。

（トピックス）

○香川県丸亀市は11月20日、国指定重要文化財の丸亀城天守の今年の入場者数が11月17日に11万840人を数え、年間入場者数が過去最多だった昨年の11万733人を上回ったと発表した。昨今のお城ブームや歴史ブームを背景に、9年連続で過去最多を更新し、一気に12万人を突破する勢いを見せている。市文化観光課は、秋の行楽シーズンに合わせて開催した築城420周年記念事業など、さまざまな集客イベントが奏功したと分析。記念事業では京極家ゆかりの日本刀「ニッカリ青江脇指」を公開したほか、城内をライトアップした丸亀城キャスルロードを初開催。記念事業の期間中には夏場に続いて天守の開館時間を延長したことも大きく後押ししたという。月別で見ると、9月は前年同月比で69.1%増。3～8月には主に9～13%増で推移した。丸亀お城まつりを開催した5月には単月で最多となる1万4,728人を数えた。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					